

平成 24 年 5 月 14 日

大腸ステント安全手技研究会 第一回運営委員会 議事録

日時： 平成 24 年 5 月 14 日 8:00 ～ 9:00

場所： グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 1 階「青玉」

出席者（敬称略、順不同）：

・運営委員・世話人

斉田芳久（東邦大学医療センター大橋病院外科）、猪股雅史（大分大学第一外科）、石田文生・矢川 裕介（昭和大学横浜市北部病院消化器センター）、松井敏幸（福岡大学筑紫病院 消化器内科）、前谷 容（東邦大学医療センター大橋病院外科消化器内科）、小泉浩一（がん・感染症センター都立駒込病院消化器内科）、前田 清（大阪市立大学 大学院 医学研究科 腫瘍外科）、伊佐山浩通・吉田俊太郎・佐々木隆（東京大学 消化器内科）、山本聖一郎（国立がん研究センター中央病院大腸外科）、坂本 琢（国立がん研究センター中央病院内視鏡部）

・オブザーバー

斉藤晃治・滝沢ピーター（ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社）

・事務局

榎本俊行・高林一浩（東邦大学医療センター大橋病院外科）、土田みゆき（東京大学 消化器内科 CRC）

議事内容：

- 1) 会則・運営委員・世話人について承認された
運営委員の追加 守口敬仁会病院 島田 守
- 2) 予算案と現時点の経過：事務局榎本より現時点で予算は 385 万円を予定している旨を説明
- 3) 秋の JDDW 時に 10 月 12 日金曜日の昼に運営委員会（世話人会？）を開催する。会場はこれから探す
- 4) 第 2 回の研究会は来春消化器内視鏡学会総会時、2013 年 5 月 12 日（仮）に開催予定、当番世話人は伊佐山先生に決定
- 5) 前向き研究プロトコールおよび検討項目について承認された。（基金の出所について記載と primary endpoint は一部変更）
- 6) 前向き研究に内視鏡を用いない留置は許容しない。（消化器内視鏡学会の附置研究会なので）
- 7) 前向き研究についての参加施設の条件について承認された。
安全留置のためのミニガイドラインについて一部の変更で承認された（変更：内視鏡はできるだけ使う、必要に応じて明確なマーキングを行う、下部直腸についてと回盲部について注意することを記載する、歯状線にかかると痛みが出ると記載する）
- 8) 発表や論文の priority について：登録数など考慮して運営委員会で決める。

追記：役員 松井先生の所属の補正：福岡大学筑紫病院消化器内科